

緊急事態宣言は解除されましたが、 引き続き感染症対策への御理解と御協力をお願いします！

全国19都府県に出されていた緊急事態宣言が、9月末で解除されました。それに伴い、新型コロナウイルス感染症に対応した「袋井市学校教育ガイドライン」もレベル3からレベル2に引き下げられました。今後の教育活動や学校の対応等で、本校として特に大事にしていこうことや変更点等についてお知らせします。

なお、基本的な感染症対策は今後も継続します。引き続き感染拡大防止への保護者の皆様の御協力をお願いいたします。

<学校として、引き続き子供たちへの指導で徹底していくこと>

- ① 常にマスクを着用し、マスクをはずしたらしゃべらない。
- ② 休み時間には手洗い・消毒をする。
- ③ 常に人との距離をとり、不必要に人の体に触らない。
- ④ 子供自身が「なぜ予防を徹底するのか」を考え、子供自身が予防し、声を掛け合う。
- ⑤ 誹謗中傷はしない。



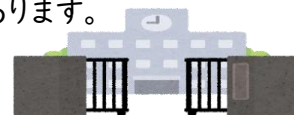
<保護者の皆様に御協力いただきたいこと>

- ・毎日、登校前に家庭での健康観察、検温等を行い、グーグルフォームで報告をお願いします。
- ・本人に発熱やのどの痛み等のかぜ症状がある場合は、登校を控えてください。→「出席停止」扱い
- ・本人に症状がなくても同居の家族に発熱等のかぜ症状がある場合には、登校を控えてください。
→「出席停止」扱い
- ・感染が心配で欠席する場合は、学校に御相談ください。原則「欠席」扱いとなります。

<今後の教育活動、行事等について>

- ・運動会(10/23) → 午前中に低学年、中学年の競技、午後に高学年の競技を実施します。
保護者や来賓の皆様の参観は行いません。
- ・外部人材活用(ともえも含む) → 活用を再開します。
- ・学校公開日(11/10) → 地区別に4つに分散するなどの対策を講じた上で、午前中公開として実施します。
- ・5年生の観音山説明会(11/10) → 12月に延期します。(日時は決定し次第お知らせします。)
- ・4年生情報モラル教室(11/10) → 学校公開を分散して行うため、11月29日(月)に延期します。
- ・修学旅行説明会(10/26) → 5、6時間目を使い、3クラスずつ体育館で実施します。
- ・修学旅行(11/25, 26) → 計画通り三重県内への旅行を実施しますが、最終的には10月中旬の感染状況により、実施か3学期への延期かを判断します。11月に入ってから、6年生は校内においても異学年との交流は、可能な限り行わないなど、一層感染リスクを避けるようにしていきます。
- ・クラブ活動(11/11) → 6年生の異学年交流を避けるために、12月への変更を検討しています。

- ・音楽鑑賞会(11/18) → 11/30 に変更します。学年団ごと、低学年、中学年、高学年で実施します。感染状況によっては1学年ずつの実施に変更する可能性もあります。
- ・PTA あいさつ運動 → 10月からは正門と北門で実施します。



<学校生活>

- ・昼休み → 日課を通常に戻し、外遊びは奇数偶数に分けて再開します。図書館開放も再開します。
- ・ペアやグループでの活動 → 対面での活動も行いますが、マスクの着用を徹底し、対面になる時間は可能な限り短時間にするよう配慮します。
- ・体育 → 集団が密集したり、接触したりする活動は控え、可能な限り屋外で実施するようにします。呼気が激しくなる場合は屋外ではマスクを外すよう指導します。屋内で体育を実施する場合は、呼気が激しくなる運動は避け、原則マスクを着用させます。
- ・音楽 → 合唱は1m空けて実施します。1m空かない場合は、交代で歌うようにします。リコーダー、鍵盤ハーモニカも実施しますが、15分以内の短時間とします。
- ・家庭科 → 調理実習も実施可とします。食べる際は、ついたてを必ず使用し、黙食を徹底します。

袋井中にも周南中にもつながる袋井北小の教育



～袋井市の幼小中一貫教育・学園教育の充実～



袋井市の幼小中一貫教育は2年目を迎えています。どの学園においても、袋井市の教育の基本理念である「心ゆたかな人づくり」の下、子どもに自己有用感と自己肯定感を育みながら、自ら行動する力(自立力)と他者と協働する力(社会力)を身に付けることを目指した教育が行われています。

本校は、袋井あやぐも学園の構成校、周南たちはな学園の連携校となっています。どちらの学園においても、ICTや思考ツールを活用して子どもが考える力を伸ばしながら学ぶ「袋井型授業づくり」、袋井特別支援学校との連携を生かした特別支援教育など、袋井の教育の重点取組が推進されています。また、袋井中学校でも周南中学校でも、自分のよさを生かして人のため、社会のために尽くす力を育てる教育が実践されています。このように、袋井市では、連携校から進学してきた子ども(本校で言えば、本校から周南中へ進学する児童)も戸惑ったり困ったりすることがないように配慮しながら、学園同士が連携して、同じ理念の下で教育を推進しています。従って、本校のように進学先の中学校が2つある状況でも、どちらの中学校に進学しても一貫した教育は継続されますので、御安心ください。

本校では引き続き、小学校段階の子どもに大切な「受容と枠組み」を大切にした指導により、学校教育目標「夢いだき ともに高め合う子」に向かって、全力で努力してまいります。このことは、袋井中学校の教育にも周南中学校の教育にも、一貫性をもってつながっていくものと考えています。

コロナ禍と言われてどれくらい経つでしょうか。マスクをつけた生活が日常となっています。

コロナ対応により学校教育も以前とは大きく変わりました。以前の学校生活を思い出すことすら難しいと感じることがあるほどです。低学年の児童にとっては、今の学校生活が普通であり、今の生活様式が当たり前と認識されているはずです。

コロナ禍であっても、子供の成長は歩みを止めることはありません。いかなる状況であれ、1日1日が子供たちの成長にとってはかけがえのない時間です。「子供の幸せを第一に」北小の職員室に大きく掲げられたこの言葉を大切に、今後も職員一同、力を尽くしてまいります。